

第37期 決算公告

令和6年6月26日

山口県岩国市美和町百合谷10281-2

株式会社 やさか

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	27,782,838	【流動負債】	6,231,748
現 金	667,103	買 掛 金	487,312
預 金	15,846,655	未 払 費 用	3,924,484
未 収 金	10,518,261	未払法人税等	182,500
クレジット未収金	21,672	預 り 金	153,472
商 品	585,019	仮 受 金	141,980
原 材 料	154,128	未払消費税等	1,342,000
前 払 費 用		負債合計	6,231,748
未 収 入 金			
貸倒引当金	△ 10,000	純資産の部	
【固定資産】	2,732,259	【株主資本】	24,283,349
(有形固定資産)	2,492,221	資 本 金	30,000,000
建 物	2	(利益剰余金)	1,796,109
建物付属設備	147,106	その他利益剰余金	1,796,109
構 築 物	129,763	繰越利益剰余金	1,796,109
機 械 装 置	88,492	自 己 株 式	△ 7,512,760
車両運搬具	3		
工具器具備品	2,010,854		
造 作	1		
一括償却資産	116,000		
(無形固定資産)	237,288		
電 話 加 入 権	222,768		
リサイクル預託金	14,520		
(投資その他の資産)	2,750		
出 資 金	2,750	純資産合計	24,283,349
資産合計	30,515,097	負債・純資産合計	30,515,097

損 益 計 算 書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目		金 額	
【売 上 高】 物 品 売 上 高 飲 食 売 上 高 管理・その他収入 施 設 利 用 収 入 【売 上 原 価】 期 首 棚 卸 高 仕 入 高 当期製品製造原価 ** 合 計 ** 期 末 棚 卸 高		6,039,906	
		6,814,193	
		19,841,365	
		17,573,065	50,268,529
		497,208	
		3,903,977	
		3,952,911	
		8,354,096	
		△ 585,019	7,769,077
	売上総利益金額		42,499,452
【販売費及び一般管理費】			49,267,881
	営業損失金額		△ 6,768,429
【営業外収益】			
	受 取 利 息	431	
	雑 収 入	223,092	223,523
【営業外費用】			
	雑 損 失	4,000,000	4,000,000
	経常損失金額		△ 10,544,906
【特別利益】			
	貸倒引当金戻入益		10,000
	税引前当期純損失金額		△ 10,534,906
	法人税・住民税及び事業税		182,500
	当期純損失金額		△ 10,717,406

営業報告書(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症の感染症法上、5類感染症に位置づけるようになり大きな転換期となりました。これにより、それまで敬遠されてきた室内での飲食やレジャー、買い物などに人流がシフトしていきました。そしてその分、アウトドアレジャーやスポーツの利用者が減少し、弊社もその影響を大きく受けた1年でありました。

今期は、大きな台風や豪雨災害は免れたものの、秋から春先にかけての少雨によりレンタルボート事業を休止せざるを得ない状況が続き、大きな影響が出ました。

また、11月以降は、レイクプラザのリニューアル工事により、レストラン、物販とも営業を休止しました。

当期売上高は前期比88.8%で6,321千円減収の50,268千円、営業損益は前期比130千円の増ながら前期と変わらず6,768千円という大きな損失となりました。

事業別に見ますと、物品売上高は1階土産品が全体の82.4%を占めており、他にキャンプ場や自動販売機等を合計した売上高は6,039千円、前期比68.3%とレイクプラザの休止が大きく影響したものとされます。1階レストランが大半の飲食においては、前期比79.7%の6,814千円とこれも休止の影響を受けています。

管理収入では、指定管理料や各種事業に係る管理料は総額で19,841千円、760千円の増収となりました。これは、燃料費等の高騰に係る特別指定管理料1,315千円も算入しております。

施設利用収入は、過去最高水準であった前期より2,539千円の減額となりました。事業ごとでは、レンタルボートが前期比98.7%の5,524千円、テニス・グラウンドは同83.2%の568千円、パークゴルフは同88.6%の4,380千円、キャンプ場が美和側同78.2%の2,310千円、大竹側のキャンプ場同91.4%の4,786千円となり、全体では前期比87.4%、17,573千円となりました。施設利用料の減額はそのまま利益の縮小を意味しますので、大きなマイナスとなります。

以上の結果、売上総利益では前期比93.7%の2,843千円の減収となりました。

一方、経費となる販売及び一般管理費は、最低賃金の上昇はありましたが、レイクプラザの休業や料理長の年度途中での退職による人件費・水道光熱費・支払手数料や契約期間終了によるリース料の減額などで2,974千円の減となりました。

次に、営業外収益は、前期における岩国市の特別指定管理料コロナ補償金などがなくなったことや今期の特別指定管理料を管理収入に計上したことにより前期に比べ2,765千円の減となりました。

また、営業外費用として、雑損失を 4,000 千円計上いたしました。これは、2022 年 6 月に起こした労働災害に関してパート従業員のケガが完治せず、後遺障害が残ったことによる損害賠償を行ったものです。当時は、このような事故に対する保険に加入していなかったため、全額を会社で負担することになりました。何より大切な従業員の体を傷つけ障害を残してしまったことに責任を痛感するとともに多額の費用を支出してしまい、重ねてお詫び申し上げます。

この結果、営業外損失は 6,768 千円、経常損失額が 10,545 千円となり、前年比 6,635 千円の減額となりました。

最後に、貸倒引当金戻入益の 10 千円を加え、法人税等を差引いた結果、当期純損失は 10,717 千円、2 ページに記載の会社の貯金にあたる利益剰余金も 10,717 千円の大幅減となり、1,796 千円となりました。5 期連続の赤字決算ではありますが、特に今期の赤字額が甚大となりましたこと、株主各位には重ねてお詫び申し上げます。

キャンプブームは、一時期の盛り上がり収まるとともに、アフターコロナの時期に入り、アウトドアレジャー全体の流行も陰りを感じられます。今後は、貸し切りイベントなど閑散期の集客を増やしたり新規顧客の取り込み策を検討したりして、さらに効率的な運営を目指します。

パークゴルフやレンタルボートは、施設・設備の老朽化により対策が必要となっているところがあります。今後も将来の運営のために必要な投資を行うなど環境整備に努めてまいります。

第三セクターは、公益性に加え採算性も強く求められていますが、社員二十数名の大半が 65 歳以上の年金受給者であることが経費抑制の一助となっていることはご承知のとおりです。一方で、地域内の人口減少、高齢化が進み退職者の補充に腐心しております。また、国を挙げての賃金アップの取組みがなされる中、経費の増大は経営にも影響を与えていますが、今後はさらに社員・従業員の賃金等の処遇改善を進めながら人材を確保し、当社の営業活動の継続を図ってまいります。

リニューアル工事を機に飲食部門や物販部門の体制やメニューの見直しを行いました。飲食部門は以前から年間相当の赤字が出ており、他の部門の黒字で埋め合わせていましたが、他部門の運営も天候などにより不確実性が高いため、今回思い切って手を入れました。料理長を置かず、厨房スタッフが誰でも調理、提供できるよう、効率的な人員配置や調理のオペレーションを導入しましたがまだまだ改革の途中です。お客様のニーズにできるだけ沿いつつ、経営改善と並行してさらに研究開発を進めてまいりますので、株主各位にはご賢察を賜るとともに今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社やさか

令和 6 年度 役員名簿

代表取締役	村山 年克
取締役	宮本 誠
取締役	賀屋 和夫
取締役	三原 尚美
監査役	藤野 修二
監査役	三井 佳和